

「入谷地区地域学校協働活動」の実施に向けて

今回の協議では標記についての取組として以下の3つが、学校より提案されました。

- 1 学校周辺環境整備
【校地内外の除草作業の実施に向けて…】
グリーンウェーブとPTAとの連携
- 2 地域郷土文化
【「入谷小唄」の伝承活動】
「入谷小唄」を伝える会(仮称)の創設
- 3 安心・安全
【入谷見守り隊の結成に向けて…】

〇話し合いから

- 1 学校周辺環境整備
 - 入谷地域全体への広報をしてはどうか。
 - 入谷8地区の区長への呼びかけにより、1地区10人程度の協力をお願いする。軽トラックは1地区2～3台を出していただく。
- 2 地域郷土文化
 - 以前は町民運動会で(入谷小唄を)踊っていた。
 - 学校の体育や総合的な学習の時間の授業などで行っていく。
 - 改めて、婦人会への協力をお願いする。
- 3 安心・安全
 - 1と同じく区長会で1地区3名程度の協力をお願いする。
 - 各行政区長から協力者の名簿を提出してもらう。

※この他にも、集団登校等についてなど貴重な御意見をいただきました。

心をよせあう入谷に 学校と地域の連携を目指して



今年度のCS推進説明

齊藤教育長の挨拶

阿部会長、菅原副会長

6月8日(月)午後7時より、本年度の入谷小学校コミュニティ・スクール(以下CS)推進の核である第1回学校運営協議会が行われました。緊急事態宣言の発出により4月17日(金)の予定だった会議が延期され、この時期の開催となりました。協議では、阿部國博会長が座長を務め、今年度の入谷小CSについて具体的な方策が話しされ、実のある会となりました。

貴重なお話をいただきました



守ります自分の命 努めます火の用心



命を守る
訓練を



昆野誠署長



6月8日(月)午前8時15分より、「入谷っ子少年消防クラブ」入会式が行われました。式では、昆野誠南三陸消防署長から会員証授与がありました。1年生を代表し大内雄斗さんが堂々と受け取った後、全員でしっかり誓いの言葉の唱和を行いました。昆野署長からは、「火災ゼロを目指して、コロナ(ウイルス)に負けないように」とお話をいただきました。1年生は、2年生から6年生の児童と共に「命を守るための訓練」を行っていきます。



加藤養護担当から説明

佐々木校長から説明

新しい学校生活様式へ

6月3日(水)午後6時30分より、学校再開についての「学校臨時説明会」が入谷小体育館を会場に行われました。平日の夜にもかかわらず、45家庭中34家庭36人に出席いただきました。75%強の出席と開始時刻には参加者全員が揃っていることに学校教育への関心の高さを感じています。説明会では、校長から前学年の学習も含めた、臨時休業明けの学校の対応をお話ししました。6月以降の学校行事や校外行事について説明いたしました。感染予防対策についても「3密」や放課後の消毒をお話ししました。また、養護担当からは文部科学省のガイドラインを基にした「入谷小学校感染症対策」について実際の学校生活場面における具体的な新しい学校生活様式が話されました。多くの保護者の方に、御理解をいただくと共に御家庭での予防対策の協力をお願いいたしました。



山内敏裕様

山内様には前週から準備をしていただきました。



植え方を教えていただいています

5月26日(火)午前9時より、分散登校の機会を利用して、5年生の田植えの体験を行いました。この体験は総合的な学習の時間に行っている稲作体験の活動の一つです。5年生の子供たちは、5月12日から始めた分散登校を利用しての活動に積極的な姿を見せてくれました。講師を務めていただいた山内敏裕様御夫妻から「よく働く子供たち、立派なものだ。」というお話をいただきました。



貴重な体験に

第16号
発行元
入谷小CS推進
委員会編集部



ホームページ
へのQRコード